



会報

やまぐち

No. 46

平成2年

5月発行

山口地方法務局新任御挨拶
新入会員紹介



山口県土地家屋調査士会

山口地方法務局新任御挨拶



山口地方法務局長 佐藤 弘 二（53歳）

プロフィール

昭和35年札幌法務局民事行政部登記課に採用、旭川地方法務局総務課長、札幌法務局民事行政部首席登記官、神戸地方法務局次長等を経て、平成2年4月1日現職に就任。

このたびの定研異動により初めて山口局勤務となり、皆様とともに登記行政の一端を担うことになりました。山口県は変化に富んだ地勢風土の中で多様な産業が発達し、また、長い歴史と文化を有しておりますが、その実情をよく勉強し、地域に適合し時代に即応する登記業務を遂行していくため、微力ですが努力したいと考えますので、御指導と御教示のほど、よろしくお願い申し上げます。

登記行政をめぐる当面する懸案は、登記事務のコンピュータ化、窓口サービスの向上、地図の整備ですが、地図整備に

ついては、管内に多くの地図のない地域や一部地図混乱地域・二重地番地域を抱えている現状において、これを推進することは緊要と考えております。また、当管内では従前から、調査士会・司法書士会・法務局の三者により、協議会を設け意思の疎通を図り、また、登記相談活動を行う等実績を挙げておりますが、これを積み重ね県民のニーズに訪えていく必要があると考えております。どうぞ、何分の御支援と御協力をお願いいたします。



山口地方法務局次長 竹谷 良 夫（57歳）

プロフィール

昭和27年山口地方法務局福川出張所（現・新南陽出張所）採用後、山口地方法務局総務課長補佐、鳥取地方法務局入権擁護課長、松江地方法務局会計課長、広島法務局民事行政部総務課長、広島法務局会計課長等を経て、平成2年4月1日現職に就任。

このたびの人事異動により、次長を命ぜられ過日着任しました。よろしくお願ひします。

私は、山口県の出身で、県内の出張所を転々と勤務していた関係上、旧知の会員の方々が多数おられ、我が家に帰ったという感がしている昨今です。

ところで、土地家屋調査士制度は、昭和25年に制定され、その後10回の改正を重ね、その充実が図られてきましたが、会員の皆様におかれても、不断の御努力により、土地家屋調査士としての社会的評価を高めておられることに對し、

敬意を表します。

法務局においては、複雑多様化する登記事務の適正・円滑な処理を目指して、登記事務のコンピュータ化、地図の整備等重要案件に取り組んでおり、これ等を達成するためには、調査士会及び会員の皆様の御努力が不可欠でありますので、どうかよろしくお願ひします。

本年は、制度制定40周年、いわゆる不惑の年に当たりますが、今後、本会及び会員の皆様と法務局が共に切磋琢磨し、国民のニーズに応える充実した表示登記にしたいと考えております。



山口地方法務局首席登記官 加藤 光明 (48歳)

プロフィール

昭和41年広島法務局民事行政部登記課に採用後、法務省民事局、法務大臣官房官務課、人事院、福井地方法務局会計課長、名古屋法務局訟務部上席訟務官、訟務局法務専門職等を経て、平成2年4月1日現職に就任。

登記所勤務の経験が僅かしかいないため、かなり戸惑いの日々を送っております。

さて、山口県は山林部に公園の備え付けがなく、また、地図混雑地域を抱えるなど表示登記を巡る環境は非常に厳しい

ものがありますが、逆にそれだけやり甲斐もあるのではないかと考えております。調査士会の皆様の御協力を得て、地図問題の改善が一步でも二歩でも図られるよう微力ですが努力してまいりたいと考えております。

第43回山口県土地家屋調査士会定時総会 土地家屋調査士制度制定40周年記念式典を終えて

総務担当副会長 乗川良介

平成2年5月29日小郡町、山口グランドホテルにおいて、第43回定時総会並に制度制定40周年記念式典が開催され、日調連から三浦会長が御臨席願える事となった事もあって、過去に例を見ない多くの会員の出席の基、盛会裡に終了した事を先もって、担当副会長として、厚くお礼を申し上げます。

総会は午前10時、三好名誉会長の音頭で倫理綱領の唱和に始まり、新本会長の挨拶、議長選出と続き、議長に宮崎支部長会議長、上村支部長会副議長が就任、議事の進行をされ、両名の大岡裁きにより予定時間を5分前に終了、昼食休憩となり、午後は、三浦連合会会長による「平成時代の調査士像を考える」をテーマに記念講演を1時間15分にわたり拝聴、小休憩の後、40周年記念式典を挙行し、今年度は節目ということもあって、山口地方法務局局長から14名、当会会長から24名の多くの会員の皆様に対し、登記行政、会の運営に対し、多大な功績があったとして、表彰があり、盛大な表彰式が実施され、又山口地方法務局長、日調連会長よりの祝詞が述べられ閉会した。又40周年を迎え、更に会員一致団結し、制度発展を計ろうという目的で、懇親会が催され、高田副会長の司会でカラオケ大会等、参加者全員で、意気合し、有意義な一時をすごしすべての総会行事を終えた。

今年の総会は例年と異なり、40周年

記念式典も同時実施したこともあって、大変忙しく、又有意義であったと、新本会長も、こみ上げるものがあり、帰りの新幹線の車中で、何とはなく目頭が、うるんで見え、私も感動すると共に、来る21世紀へ向けての芽吹を感じました。

記念講演の中で三浦日調連会長から数々の新しい提案があり、調査士像も希望の賑らむ業界に脱皮し発展するものと確信した。

中でも、会の運営は縦の線で結ばれるものではなく、フラットな形で結ばれて組織の形成がなされるべきであり、会長はそのリーダーとして、多くの会員の意見を求め、最良な方向に位置付けをする役割を担うよう努めたいと述べられ、民主的運営の方向付けをされた。又、その為にも会の催す、あらゆる事業には強制会の会員として、必ず出席する義務を負担する様、指導しなければならないと付け加えられ、身の引き締る思いであった。

更にこれからの調査士像は個人ではなく、集団化の推進を計り、一般事件の減少を、公囑事件及び大規模開発業務の処理に対応することの出来る組織改革を計ることが、急務となった。40年間の歩みを考える時、現状維持で行くか、飛躍を選ぶか、大きな決断の時期が正に目の前に来たと述べられ、未来へ開けた組織改革の熱意がうかがわれた。

三浦日調連会長に勇気と希望を与えて戴いた事に感謝しながら、第43回定時総会の無事終了したことを報告致します。

公正な立場で

徳山支部長 宮崎 晴雄

昭和46年7月に26才の齡で開業いたしました。丸19年になろうかとおります。そしていよいよ開業20年という一つの節目を迎えようとしているものでございます。そんなことで最近をよく自分の歩んで来た19年間を振り返ることが多くなりました。

先づ第1にこの19年間何をしてきたのであろうか。

第2にこの間に何か自分の身についたものがあるのであろうか。又どういった面で社会に貢献できたのであろうか。

第3に、ではこれから20年という節目を迎えるにあたって何を考え何をしたら良いのであろうか。とまあこのようなとりとめのないことを考えております。

第1の19年間何をして来たかを振り返りますと業務の方は随分とこなして来たように思います。建物表示登記、土地分筆登記に関しては8千件は下らないでしょう。

これらの業績(自分で業績というのはおかしいかも)の他に何か無いかと考えてみます。財産が残ったのではないかとおもしろい、いろいろ計算してみますと借金の方が多少多く残っているようだし、それでは他に何かと考えると、子供と優秀な補助者が残ったようにおもえます。

子供は高3男子と中1女子がおりますが心身ともに健やかに育っています。

補助者の中にはこの19年間の間に土地家屋調査士の資格をとって開業した者

が2名、測量業者として独立した者が1名、在職中の者で測量士の資格をとったものが3名、その他測量士補をとったものが数名おります。

これらのことを考えますと、身についたものはわずかでも多少社会には貢献できたのではないかと自分なりに納得いたしております。

現在私は45才ですので65才位までは仕事ができるでしょうから、あと20年間は頑張らなければなりません。

土地家屋調査士の業務の中で、特に土地に関する業務は、昨今の地価の高騰、国民の土地に対する権利意識の高揚等によりますます複雑多岐に亘ってきております。こういった複雑な業務をこなしていくための一番大事なことは、正確に公正に処理をすることだとおもいます。

長い間土地家屋調査士として地域からかわいがられ、信頼を得ながら業務を行っていく秘訣は、土地家屋調査士倫理綱領にもありますように「公正な立場で」業務を行うことが一番だとおもいます。

依頼者の側ばかりに立って無茶苦茶に頑張られ、依頼者に有利に処理したばかりに周囲の所有者全員の信頼を失ったという話を聞いたことがあります。

たとえ依頼者の不利になろうとも真実は一つしかないであろうから違うものは違ふと、又出来ないものはノーとはっきりいえる調査士になりたいものとおもっております。

新入会員紹介

新入会員紹介

名前 植野 勝昭
支部名 岩国支部
事務所 玖珂郡玖珂町 6015-1
年令 48才
モットー 誠実
趣味 読書、将棋



名前 小原 秀夫
支部名 岩国支部
事務所 大島郡精町大字東安下庄 1518
年令 35才
モットー 迅速・正確
趣味 釣り

名前 伊藤 正典
支部名 萩支部
事務所 長門市仙崎 1104-2
年令 41才
モットー 誠心誠意
趣味 読書、旅行





名 前 和田 祐二
 支部名 宇部支部
 事務所 宇部市大字東岐波 840 番地
 年 令 25才
 モットー 迅速かつ正確
 趣 味 ジェットスキー

名 前 藤本 精二
 支部名 宇部支部
 事務所 宇部市藤田町 8丁目 8番 6号
 年 令 37才
 モットー 努 力
 趣 味 将 棋



名 前 宮崎 幸三
 支部名 下関支部
 事務所 下関市細江新町 3番 45号
 年 令 43才
 モットー 別になし
 趣 味 ツーリング

名 前 孫 濱 一
 支部名 下関支部
 事務所 下関市細江新町 3番 45号
 年 令 43才
 モットー 別になし
 趣 味 釣、読書、音楽鑑賞



—支部だより—

光波点検を終えて

岩国支部 中 島 順 一

4月21日岩国支部の研修として、光波測距器の点検を岩国市大字通津、旭化成横の道路において行なった。

前日まで雨であり天気を心配したが、運よく当日は晴天であり、気持ちよく（心

の中では点検したことがなく不安をもって）各自愛用の器械を点検し、他調査士所有の器械と比較をした。

結果は下記のとおりです。

中 島	60.000	29.994	30.003	+0.003
大 森	59.998	29.994	30.003	+0.001
田 村	60.000	29.995	30.006	-0.001
浦 井	59.995	29.990	30.001	+0.004
林 山	60.002	29.996	30.005	+0.001
東	59.997	29.994	30.002	+0.001

企画委員の方々には、参加者を多数予想され、点検場所を2カ所設置していただいたが、参加者が少なく、1カ所は使用しなかった。へいぜい単独で仕事をする機会が多い私達にとって、自分で光波の点検をすることは、あまりないのでこのような企画があるときは、万障くりあわせて参加してほしいと思いました。

又、光波の点検には参加されなかったが、ある長老の会員も参加され、いろいろと質問されていましたが、調査士として大変よい事だと思いました。技術もたえず進歩しているので、調査士個々でなく全体のレベルアップを計るためにも、又これからの公共嘱託登記を受託するについても、いろいろな企画には積極的に

参加してほしい。何か得るものがあるはずです。

最後になりましたが、光波の点検が終了後メーカーの最新の器械の説明があ

り、購入する、しないは別にして、このようなものがある、ということを知るのも大事だと思います。



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命
不動産に係る権利の明確化を期し、国民の信頼に応える。
2. 公 正
品位を保持し、公正な立場で誠実に業務を行う。
3. 研 鑽
専門分野の知識と技術の向上を図る。

表示登記の日をPR活動の新展開に

宇部支部 瀬口 潤 二

土地家屋調査士会本部が日曜日にもかかわらず無料相談日を実施されることについて宇部支部では、これを新たな調査士会のPR活動の展開であると位置づけました。

毎年の表示登記の日にあっては、宇部支局内、小野田出張所内、山崎出張所内の3会場にて実施されてきましたが、今回は、小野田市のサンパークというこの地区の最大のショッピングセンター（1500台の無料駐車場をもつ郊外型ショッピングセンター）に会場を統合し宇部支部役員全員（8名）が相談員として参加しました。

例年と違い人通りのある場所での相談会場で、PRポスターや立て看板に立ち止まり見て行く人も多く、“土地家屋調査士”のPR効果があったものと思われます。

サンパークの方々も非常に協力的で、午後3時で終了する予定であったところ、4時から5時にかけてが、サンパークの集客のピークであるので是非ともその時間帯まで行事の延長をと進言され、結局、宇部支部は午後5時半まで会場を開き相談に乗ることとなりました。

さらには、店内の各所に表示登記の相談ができることの

ちらしが貼ってあり、店内放送も午前3回、午後2回と案内がありました。

また、相談にこられた人は、冷やかしか客をふくめると20人で表示登記の日の実施の目的は、達成できたと支部役員は、喜んでいます。

もし、次回からは、人通りのある場所での無料相談日の会場の設置が、全国の調査士で一斉になされるようなことになれば、“土地家屋調査士会”並びに“土地家屋調査士”の名前のPR効果はもっともっと上がることを期待されるとおもいます。

以上、写真とともに報告します。

平成3年4月8日



4月1日表示登記の日無料相談集計表

支部	開催場所	相談者	支部	開催場所	相談者
岩国	岩国支民会館	3	山口	山口県司調合同会館	0
	柳井市文化福祉会館	7		萩	サンライフ萩
	錦町公民館	2	長門市物産観光センター		0
	周東町中央公民館	1			
徳山	徳山市民館	1	宇部	小野田市サンパーク	12
	光市民ホール	0	下関	下関市シーモール	17
防府	防府市文化福祉会館	6			

登記相談を知ったメディア

- 1 市町村広報紙 …… 35人
- 2 ポスター …… 5人
- 3 ラジオ …… 1人
- 4 テレビ …… 0人
- 5 新聞 …… 3人
- 6 その他 …… 4人



小野田サンパークにて

平成2年度も、4月1日(日)に県下12カ所に於いて表示登記無料相談所が開催されました。

本年は日曜日に開催し、また一部の会場ではショッピングセンターで開催する

など、市民に密着した表示登記相談所とすることができ、土地家屋調査士のPRをすることができました。

無料相談所に御協力頂きました調査士の皆様、大変お疲れさまでした。

山口地方法務局職員名簿

(平成2年4月1日現在)

山口地方法務局

官 職	氏 名
局 長	佐藤 弘二
次 長	竹谷 良夫
(総務課) (10名)	
課 長	松井 瑛郎
課長補佐	品川 寿興
庶務係長	高杉 伸夫
人事係長	金子 邦人
係 員	西村 昭博
"	井上 進
"	中村 公洋
"	藤村 品代
"	梅本 華恵
自動車運転手	三津田 義真
(会計課) (10名)	
課 長	黒瀬 寿之
主計係長	釜谷 和代
用度係長	山 龍彦
官 籍主任	久富 豊
係 員	勝田 寛子
"	山田 謙治郎
"	平尾 輝尾
"	田中 博幸
電話交換手	田邊 康子
庁 婦	富田 礼子
(登記部門) (13名)	
首席登記官	加藤 光明
統括登記官	尾崎 昭夫
"	前田 和美
表示登記専門官	石崎 親男
"	天河 正雄
登 記 官	有井 幸治

登 記 官	河村 雅子
登記相談官	高井 静子
"	森脇 秀仁
登記専門職	重田 勉
係 員	町田 圭司
"	杉原 誠二
"	吉岡 昌紀
(戸籍課) (5名)	
課 長	中野 三男
戸籍係長	安田 護
国籍係長	中村 和彦
係 員	中本 正和
"	西山 義治
(供託課) (3名)	
課 長	末利 夫
供託係長	椿 敦夫
係 員	松村 亮
(訟務部門) (4名)	
上席訟務官(総括)	森 義則
上席訟務官	上山本 一興
訟 務 官	武下 漢
係 員	富永 盛
(人権擁護課) (3名)	
課 長	工藤 昭吉
人権擁護係長	小山 稔
人権相談主任	吉武 丈治
防 府 支 局 (11名)	
支 局 長	上矢原 節美
総務係長	林 隆康
統括登記官	飯田 融
登 記 官	安宗 厚子
"	松下 衛
登記調査官	藤 永幸成

登記調査官	村田 光男
登記専門職	竹内 芳行
"	岡崎 輝雄
係 員	妹尾 祐子
"	玉田 秀樹
徳山支局 (15名)	
支 局 長	中野 久雄
支局長補佐	井上 敏徳
総務係長	松村 正博
統括登記官	河座上 弘一
登 記 官	藤井 欽也
"	田中 昭
登記調査官	河村 保
登記専門職	有吉 清敷
"	武吉 勲
"	吉村 智恵子
係 員	原田 邦夫
"	勝部 泰和
"	徳田 浩
"	宮本 博子
"	山根 忠相
萩支局 (10名)	
支 局 長	池田 幸彦
総務係長	守永 辰夫
統括登記官	山崎 浩正
登 記 官	横山 好信
登記専門職	小野村 悟
"	増山 和男
係 員	後藤 鋭輝
"	金子 忠明
"	藤井 裕子
"	吉屋 仁志

岩国支局 (13名)

支局長 山根 隆
 支局長補佐 齊藤 俊英
 総務係長 有熊 和郁
 統括登記官 林 啓二
 登記官 金重 吉起
 " 三隅 信行
 登記調査官 齊宮 英敏
 登記専門職 原澤 源一
 係 員 大島 穰
 " 原田 隆男
 " 岩谷 寛
 " 尾中 芳孝
 " 今井 夕起子

下関支局 (22名)

支局長 広中 章人
 総務課長 中本 尚
 統括登記官 加藤 芳昭
 総務係長 田中 香治
 登記官 兼安 典子
 " 小野 孫房
 " 国沢 富三郎
 登記調査官 山本 房夫
 供託専門職 林 彰夫
 登記専門職 木村 学
 " 藤井 茂
 " 宇野 秀穂
 係 員 金沢 穂英
 " 川村 泰秀
 " 小野 一夫
 " 原田 勉
 " 横山 孝秀
 " 若槻 千明
 " 谷村 典子
 " 吉野 寿子
 " 岡本 紀子
 " 中村 英樹

宇部支局 (17名)

支局長 山崎 力
 支局長補佐 和太 稔
 総務係長 山本 智之
 統括登記官 小川 寿光
 登記官 河村 礼子
 " 藤井 靖生
 登記相談官 藤田 英夫
 登記調査官 西村 和子
 登記専門職 松永 憲昭
 係 員 中島 正善
 " 岡崎 さおり
 " 野村 博之
 " 原田 俊峰
 " 垣村 昌宏
 " 福田 和幸
 " 永田 裕美子
 " 佐内 葉子

美祿出張所 (4名)

登記官(所長) 保坂 一男
 係 員 有田 知
 登記調査官 浅原 勉
 係 員 宮村 美代子

阿東出張所 (2名)

登記官(所長) 野村 幸子
 係 員 武田 信夫

新南陽出張所 (3名)

登記官(所長) 福永 馨
 登記専門職 岡村 邦子
 係 員 中嶋 周一

光出張所 (5名)

登記官(所長) 大井 馨
 登記専門職 竹内 基晴
 " 藤井 隆弘
 係 員 河野 恵美子
 " 大木 伸一

須佐出張所 (2名)

登記官(所長) 杉村 靖雄
 係 員 進端 浩生

長門出張所 (4名)

登記官(所長) 中野 好彦
 登記調査官 岡藤 康通
 登記専門職 津森 正義
 係 員 藤木 修

周東出張所 (3名)

登記官(所長) 中川 俊弘
 登記専門職 高松 恵子
 係 員 和田 裕勝

錦出張所 (2名)

登記官(所長) 永田 一義
 係 員 岡田 勝美

柳井出張所 (6名)

登記官(所長) 長弘 毅
 登記専門職 岡本 隆生
 " 松原 純生
 係 員 斎藤 春洋
 " 前田 利隆
 " 釜谷 和雄

久賀出張所 (3名)

登記官(所長) 河合 佑一
 登記専門職 池永 真
 係 員 小山

豊北出張所 (2名)

登記官(所長) 藤井 照夫
 係 員 古谷 訓

豊田出張所 (2名)

登記官(所長) 中川 綾子
 係 員 古川 信明

出陽出張所 (2名)

登記官(所長) 西本 紀美子
 登記調査官 山本 隆

小野田出張所 (3名)

登記官(所長) 弥政 忠文
 係 員 藤川 京子
 " 伊藤 守

—フォーカス'90—



他山の石ならぬ自山の石

岩田支部 読 藤 清 治

去年の夏、富士山に登った。雪はあるし、眺めは素晴らしいけどただただ景色を見ることに心を奪われてしまった。

仕事を忘れるチャンス求めてやってきたせいだろう。

三角点のことなんかすっかり念頭になかった。がしかし下山の途中に思いだした。同行者に聞いてみたら、中の一人が写真を撮ったすぐ横にあったという。

そんなバカな。私が気がつかないはずがない。そう思ったまま帰路についた。

写真が出来てきて、その中にこの写真があったが、なんとも思わなかった。

今回、FOCUS'90用に写真をだしてくれといわれて探していて、初めて気がついた。ナントどう見ても三角点の真横にいたではないか。

平日頃大変お世話になっている三角点にたいしても、関心が無いとこんなものなのだろうか。

ネコに小判、ネコにかつお節となった。

苦悩する編集部員

5月号を編集中の広報部員です。

原稿依頼、取材、アンケート、新企画の立案等、次号発行までの3ヵ月間がすぎたってしまいます。皆様絶大の御協力をお願いします。

原稿をよろしく。





IRIGOHのイメージ情報処理技術が明日の統合のAシステムを実現します。

技術とサポート力で お役立ちの IRIGOH

お問い合わせ
山口リコー 0839(27)4530
0839(27)4440

リコーテクノネット 0839(23)2477

QAテレフォンセンター WP 082(248)1299
パソコン 082(248)3217

ご用命は…

本社	徳山南大字徳山6674-1 〒745 ☎(0834)31-11220
のんぷろ徳山	徳山市徳町3-4-0 〒745 ☎(0834)31-6769
朝井徳山	朝井市海町6-10-3 〒742 ☎(0830)23-2327
山行徳山	山行市大字山行町200-10 〒753-02 ☎(0831)27-4440
防府徳山	山形市大字防府町200-18 〒753-02 ☎(0831)27-4440
高井徳山	高井市原3-7-1-8 〒758 ☎(0832)5-9572
宇津徳山	宇津市沢田2-3-1-25 〒755 ☎(0836)31-6611
下関徳山	下関市一の宮町2-18-15 〒751 ☎(0832)04-0000



お客様のご要望に応じたサービスを提供いたします。



お客様の業務に合わせたソリューションを提供いたします。









制度制定40周年記念事業内容

企 画 部

本部特別研修として、早稲田大学法学部教授藤田 薫先生をお招きし、平成2年9月8日(土)小郡駅前ホテルみやけにおいて「土地家屋調査士の業務と民事責任」と言うテーマで講演していただくことを企画しています。

広 報 部

記念特別号として本会活動の沿革のほか全会員の方々の各事務所前におけるご本人、又は家族、補助者一緒の写真及びこれにコメントを挿入し、写真入り会員名簿的なものも入れて発行する予定であります。その節は、ご協力のほど宜しくお願い致します。

S 41年頃の旧事務局



現在の事務局



信頼をお届けします

UBEX

株式会社ウベックス

本 社 旭宇部 (0836) 21-1147
 下関営業所 旭下関 (0832) 32-0113
 山口営業所 旭山口 (0839) 23-0380

FUJI XEROX

取扱商品

- 複写機(ゼロックス)
- ワークステーション
- ファクシミリ・ワープロ
- パーソナルコンピューター
- オーバーヘッドプロジェクター
- その他OA関連商品

宇部営業所 旭宇部 (0836) 21-1147
 防府営業所 旭防府 (0835) 21-7771
 萩営業所 旭萩 (08382) 6-0431

事務局の窓から

事務局 嘉村 復 亮

2月××日

年計表の未提出者、本日現在11名。ほぼ例年通りの節ぶれである。本来の提出期限は1月末であるが、例年仲々健前通りに行かない。

事務局の仕事として提出された年計表の集計作業があるが、ソロバンを入れると、10何件に1件の割合で計欄の記載誤りがあったりして、また大変だ。結局、全会員の提出を受けて集計作業を終え、法務局と連合会に提出することができるのは3月中旬以降となってくるのが実情だ。

3月×日

3月中の凡その仕事の段取りを立てる。

企画委員会資料整備 …………… 3月2日まで
2月末会計整理 …………… 3月5～6日まで
各種表彰関係資料整備 …………… 3月24日まで
平成2年度予算案作成 …………… 3月15日まで
2月分支部交付金の送金 …………… 3月20日まで
支部研修助成金の送金 …………… //

4/1表示登記の日、無料相談所会員宛文書の発送 …………… 3月8日

福祉優遇費の送金 …………… 3月9日

会費未納者に対する督促 …………… 3月10日まで

3月×日

会費未納者11名に対し納入依頼文書を出す。

3月××日

4月1日・無料相談所資料の送付準備。

これは2月14日付、県下市町村宛広報掲載依頼。2月21日付、NHK、KRY、TYS宛放送放映についてのお願いのステップを経て、全

会員宛の通知とお願いである。チラシ、ポスターなど併せ送付するため、2日がかりの作業となる。

3月××日

平年より1週間早く桜が開花。

2月3月と概ね予定通り仕事を消化してきて、本日は支部研修助成金の送付事務。

諸会計の年度末整理見通しもついて一安心。

3月××日

部長会を経て平成2年度予算原案を立てる。

年計表チェック。未提出2会員を除き集計了。

3月××日

4月開催監査会、理事支部長会案内を出す。

4月××日

4月2日以降、本会計、証紙会計、互助会会計、用紙会計等年度末整理。4月9日監査準備終了。

会報45号の印刷上り。

4月××日

理事、支部長会準備に着手。

9月8日開催研修会講師、鎌田早大教授宛講師依頼文書を出す。

4月××日

理事、支部長会も無事終えて会員宛総会案内文書記案。同時に総会資料を印刷に付す。

駅通りの銀杏並木は若芽を揃え、パークロードの樺並木の新緑はすっかり色濃くなった。

—公嘱協会だより—

平成2年度の前進に向けて

社団法人山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

専務理事 白井 栄一

◇ 株の暴落に思うこと

今の世の中、土地転がし、株転がし以外にはなかなか大金を掴むことができない仕組みになっておりますが今回の株の暴落にはいささか驚きました。

昨年は定年退職によってなけなしの退職金を得ましたので老後設計のためには一つ、株でも買っておこうかと考えましたが我が家の女房殿をはじめ街の投資顧問がアレコレ煩いので面倒になって放っておきました。実際には推奨株はどれも高く手が出なかったわけで、今思えば買わなかったことが正解でした。

小生は、株は所詮バクチですから、勝った・負けたは時の運、儲かる・儲からないは賽の目次第と解釈しており、インサイダー取引や非公開株の譲渡といったインチキは別にして必勝法がある筈はないと信じております。

この際、徒らに投資熱に煽られず、昔からの格言にある「人の行く裏に道あり 花の山」をかみしめてみたいと思います。

◇ 全国の公嘱事業の動向

本年6月27日、全公連第5回定時総会が日調連会議室において開催されます。

(表1) 昭和63年度中国ブロック各県協会の受託金額

協 会	社員数 名	受託金額 千円	1社員当 り 千円
広 島	265	153,236	578
山 口	134	91,230	681
岡 山	184	81,343	444
鳥 取	68	7,264	107
島 根	82	26,554	324
中国ブロック	732	359,627	491
全 国	9,639	4,369,088	453

平成元年度の全国の事業実績は未だ判明しておりませんが昭和63年度の実績は(表1)のとおり約43億7千万円で前年対比134%の進展になっております。

また、これを全国平均でみると1協会当り約8,700万円で、1社員当り約45万円といったところで本協会は中国ブロックではトップを保持しております。

なお、本年度は全公連に対し国鉄清算事業団や新幹線保有機構など発注機関から直接の相談も寄せられており公嘱事業の認識は一段と高まってきました。

◇ 本年度の山口県公嘱調受託額は2億2千万円を突破!

本年度の山口県公嘱調の受託額は5月25日現在2億1,300万円を計上し、前年度期末実績の9,123万円との対比で234%の躍進を示しております。

受託した発注機関は前年度の18機関から23機関に増加し、新規に日本貨物鉄・清算事業団・鉄建公団・日本道路公団・雇用促進協会・秋徳町・萩土地改良事務所からの受託を得て、除々に販路が拓かれてきました。

また、発注機関別には(表2)のようにJ R西日本・貨物からの受託額が1億6,300万円で全体の約80%に相当する圧倒的な割合を占めており、J Rなかりせば……を考えるとどうしても次の主要発注機関の開拓が望まれます。なお、県住宅供給公社・建設省・地域振興整備公団や山口市・徳山市・小郡町等からは本年度も継続的に発注を受けました。さらに、特注のあった山口地方法務局からの徳山市図根点設置作業は支所社員多数の参加をいただき率仕的なご尽力によって業務を完了し、立派な成果品を納めることができたことを申し添えます。

なお、支所別に受託状況をみると、(表3)のとおり、受託金額ではJ R業務の無い岩国支所の約420万円のほかは萩支所の約2,150万円から山

(表2) 平成元年度発注機関別受託金額状況表
(高位順10位まで)
H 2 5 25 現在

発注機関	取扱社員数(延)名	受託金額 万円	社員1名 当り 万円	ウエイト %
J R 西日本	66	134,504	2,038	63.1
J R 貨物	32	28,660	896	13.5
県 住 宅 供 給 公 社	32	10,110	314	4.7
山 口 市		9,773		4.5
小 郡 町	6	5,080	847	2.4
徳 山 市	3	5,012	1,671	2.4
建 設 省	40	4,274	107	2.0
山口地方 法 務 局		3,334		1.6
秋 穂 町	3	2,984	995	1.4
地域振興 整 備 公 団	5	2,814	563	1.3
以上10機関	187	206,545	1,105	96.9
そ の 他 13機関	46	6,617	144	3.1
合計23機関	233	213,162	915	100.0

※ 山口市、法務局、清算事業団業務は未清算。

(表3) 平成元年度支所別受託金額状況表
H 2 5 25 現在

支所	取 扱 社員数 (延)名	受託金額 万円	自主開発 比例会費 × 10 万円	総 受 託 金 額 万円
岩国	35	4,197	1,297	5,494
徳山	53	20,323	583	40,906
防府	24	27,615	-	27,615
山口	45	50,894	922	51,816
萩	21	21,507	2,726	24,233
宇部	28	32,924	490	33,414
下関	27	35,702	3,201	38,903
合計	233	213,162	9,219	222,381

※ 山口市、法務局、清算事業団業務は未清算。

口支所の約5,090万円まで全支所にわたってある程度のもまとった業務量の配分が及んだと考えます。

また、全業務の取扱担当社員は延 233名で報酬額は1社員当り92万円になりました。

このうちJ R業務(西日本・貨物)は測量業務等の実施により1社員当り166万円と高い額になっております。

このように、事業収入の好調さの反面、比例会費収入は現在約92万円(受託金額920万円)と低調で、年度計画の50%を未達の状況にあります。支所別には下関32万円、萩27万円、岩国13万円のほかに目立った成果がなく今後の自主開発の促進に期して待つものがあります。

◇ 事業の長期展望は明るい

政府はこのたび21世紀に向けて今後10年間(1990～2000年)の公共事業投資額(用地費を含む)を400兆円とする増額修正計画を発表しました。

生活関連事業への投資額重視は日米構造協議におけるアメリカの要求をまつまでもなく国民の希求するところですし、今後、社会資本の充実に伴って公営登記事業の需要はますます増大することが予測されます。

本年度は社員各位の格別のご高配により前述したところの成果を収めました。平成2年度も引続きJ R西日本24構内、J R貨物8構内の業務発注を受けております。当面は、J R業務の大量事件処理に拍車がかかることになるでしょうが、そのほかの発注機関からの受託額も増加傾向にありますので、各方面の信頼に応えるためにはさらに研鑽に励み、前年に増しての努力を要するものと思います。

平成2年度の前進に向けて社員みなさんの一層のご協力を切に願います。

◇ 公編調第5回通常総会は次のとおり開催の予定です。

日時 平成2年8月4日(土)12時30分より
場所 吉敷郡小郡町黄金町1-1

山口グランドホテル

事務局だより

会 務 報 告

3月 3日(土)	企画委員会
8日(木)	広報部会
15日(木)	部長会
27日(火)	司法書士会との協議会
4月 1日(日)	表示登記の日無料相談所開設 県下12会場
13日(金)	監査会
16日(月)	法務局新局長披露会
23日(月)	理事会・支部長会
24日(火)	法司調三者協議会
5月 1日(火)	} 全国厚生担当者会議
2日(水)	
22日(火)	広報部会
28日(月)	総会打合せ
29日(火)	定時総会
30日(水)	広報部会

行 事 予 定

6月 2日(土)	下関支部総会
7日(木)	中プロ会長会
9日(土)	防府支部総会
16日(土)	岩国・徳山・萩・宇部支部総会
19日(火)	} 日調連総会
20日(水)	
23日(土)	山口支部総会

会 員 異 動 状 況

1. 会員入脱会状況

支部	氏名	年月日	入脱会
宇部	藤本 精二	2 2 21	入会
岩国	小原 秀夫	2 3 10	"
宇部	小笠原治人	2 3 20	再入会
防府	浅村 栄一	2 2 19	脱会
山口	田上 陽一	2 4 10	入会

2. 事務所変更他

支部	氏名	変更事由	年月日
宇部	町 紀美幸	住所変更	2 2 6
		小野田市大字小野田 1285 番地の 58	
徳山	坂本 敬子	住所変更	2 2 13
		新南陽市中央町 5 番 1 号	
	坂本 敬子	事務所変更	2 2 13
		新南陽市中央町 5 番 1 号	
防府	嶋津 郁夫	事務所変更	2 3 5
		防府市八王子 1 丁目 7 番 4 号	
宇部	高杉千河生	住所変更	1 6 6
		宇部市大字上宇部 631 番地の 14	
下関	清水 靖士	住所変更	1 11 27
		下関市横野町 1 丁目 9 番 43 号	
	清水 靖士	事務所変更	1 11 27
		下関市横野町 1 丁目 9 番 43 号	
防府	杉本 茂	事務所変更	2 3 26
		防府市大字仁井令 450 - 5	
岩国	浜田 年一	住所変更	60 11 18
		岩国市錦見 8 丁目 28 番 1 号	
宇部	坂村 悦三	事務所変更	2 5 1
		宇部市寿町 2 丁目 5 番 16 号	

目 次

山口地方法務局新任御挨拶	2
第43回山口県土地家屋調査士会定時総会土地家屋調査士制度制定40周年記念式典を終えて	4
随 想（宮崎先生）	5
新入会員紹介	6
支部だより（岩国支部）	8
表示登記の日をPR活動の新展開に	10
4月1日表示登記の日 無料相談集計表	11
山口地方法務局職員名簿	12
フォーカス'90	14
制度制定40周年記念事業計画	16
事務局の窓から	17
公撰協会だより	18
事務局だより・行事予定	20

発 行 山口県土地家屋調査士会
山口市駅通り2丁目9番15号
電 話 (0839) 22-5975
FAX (0839) 25-8552
振 替 下関 9-11085

発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 新本清人
広報担当副会長 竹内重信
広 報 部 長 田中拓朗
部 員 鶴 寿 栄 一
〃 野上茂樹
〃 河村誠一

印刷所 桜プリント企業組合
山口市旭通り1-1-6
電 話 (0839) 22-1712

表紙のことば

宇部市制記念日の祝賀行事として「炎都祭」と呼称し昭和9年11月1日に商工会議所の主催で行われたのが発端で、昭和37年市民総参加祭りとして「宇部まつり」と改称され（毎年11月3日）、市内各団体が仮装、おどり等をしながら、歩行天国になった国道を行進するものであります。

